

ペットボトルキャップ回収終了



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当協議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、五條市社協だより「ふれあいvol.138(令和4年2月1日発行)でお知らせしておりましたが、令和4年8月末日をもって『ペットボトルキャップの回収を終了いたしました』ことを改めてご報告いたします。

「捨てる」を「集める」に変えるだけで、誰でも手軽に始められる身近なボランティア活動として、ペットボトルキャップ回収運動は、平成21年から始まり、皆様のご協力により、13年間続けることができました。

改めて、
説明thank you...



集められたキャップは、次のようにして、開発途上国の子どもたちにワクチンを贈る活動になっていました。

- ① 市民の皆様によるキャップ収集
- ② 五條市社協にて回収
- ③ 回収業者にて引取り



一番金額の安いポリオワクチンで換算しています。

	収集個数	ワクチン換算人数
令和4年度	483,600個	120人
13年間 総合計	4,530,800個	3,305人



皆様に集めていただいた努力の賜物です。

- ④ 回収業者がリサイクル素材に換え、換金
- ⑤ 売却益を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(以下「JCV」という)へ寄付
- ⑥ 「JCV」は、「ユニセフ」と連携し、世界のワクチン工場へワクチンを発注
- ⑦ 発注を基に製造されたワクチンは、冷蔵・冷凍状態のまま、空輸で支援国へ
- ⑧ 支援国のワクチン保管センターの冷蔵庫・冷凍庫で一旦保管
- ⑨ 各地の予防接種会場で子ども達にワクチン接種



昨今、プラスチック材料の値下がりにより、ペットボトルキャップの売却益が少なくなっていること、また、原油価格の高騰で回収業者の運搬費用にも影響が出ており、皆様に集めていただいたたくさんのキャップに対して、ワクチン接種のための寄付額は年々少なくなっております。

このような状況からキャップ回収の継続に関して、市民の皆様及び協力機関の皆様の労力と寄付額とを比較したところ、キャップ回収の運動を中止することが適切と判断し、令和4年8月末日をもって終了いたしました。

これまで長きにわたり、回収運動に賛同し、ご協力及びご支援いただきました方々に深く感謝し、心より御礼を申し上げます。

令和4年11月22日
皆様からお預かりした最後のキャップを回収業者に託しました。



今まで
ありがとう
ございました!

【ワクチン支援をされている団体の情報提供】

「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」

〒108-0073

東京都港区三田4-1-9 三田ビルサイドビル8F

TEL 03-5419-1081

https://www.jcv-jp.org/